

「お神札のまつり方」

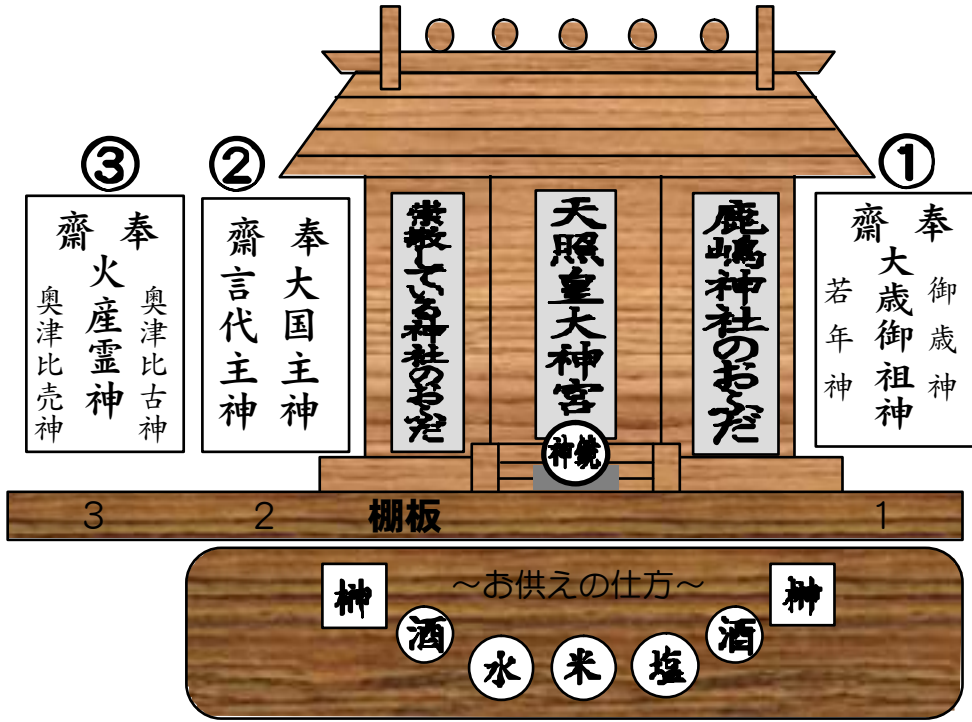
◆お神札をおまつりする時期は年末です。年末に新しいお神札をおまつりし新しい年を迎えましょう。

◆お神札のまつり方は、神棚に向かつて宮型(みやがた)の中央に「天照皇大神宮」を右側に白河地方の総氏神様である鹿嶋神社のお神札「鹿嶋神社大麻」を左側に崇敬している神社ある場合にはそのお神札「崇敬神社御札」をおまつりします。

「年神さまのお神札のまつり方」

◆神棚に向かつて右側に①「大歳御祖神」を、左側に②「大国主神・言代主神」をおまつりください。③「火産霊神」は、台所などの火を使う場所におまつりいただくが、左記の図のように神棚の左側におまつりください。

年神さまのお神札は左の図のように宮型の横に貼りおまつりいただくか棚板①・②・③の場所に貼りおまつりください。貼る際にはのりかテープで止めてください。



～年神さまのお神札について～

- としがみ
- ①年神さま「大歳御祖神(おおとしみおやのかみ)」は、お正月に各家庭にお越しになる神さまです。年神さまは、新しい年の家庭の幸せや穀物の実りを約束してくれる神さまであり、私たちに生命を与え、生活を見守ってくださる神さまです。
※このお神札をおまつりする期間は、年末から小正月(1/15)頃までです。この小正月頃になりましたら、正月飾りと一緒に「大歳御祖神」のお神札をおろします。
 - ②「大国主神(おおくにぬしのかみ/大黒様)・言代主神(ことしろぬしのかみ/恵比寿様)」は、農業・漁業・商業の守護神で商売繁盛・家内安全などのご利益があります。
※このお神札をおまつりする期間は、年末から一年間です。
 - ③「火産霊神(ほむすびのかみ)」は、火をつかさどる竈(かまど)の神さまです。
※このお神札をおまつりする期間は、年末から一年間です。